

めざそう！低炭素社会

私が一歩
みんなと一歩



平成 26 年度

TEAM MATE ひろしま活動事例集

各地のTEAMを中心に 低炭素社会づくりをめざします

広島県内の地球温暖化対策地域協議会

この事例集は、広島県内で活動する「地球温暖化対策地域協議会」の活動の様子をまとめたものです。

「地球温暖化対策地域協議会」は、日常生活からの温室効果ガス排出量削減に向けて、地域の各主体が連携・協働し、地域の実情にあった実効性のある温暖化対策に取り組むパートナーシップ型の地域組織です。

脱温暖化センターひろしまでは、通称「TEAM(チーム)」と呼んでいます。



広島県内には、現在25の地球温暖化地域協議会が設立されています。
TEAMの構成員は、地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進協議会、行政、学校、企業、各種団体（女性会、食推など）など、TEAMによってさまざまです。

目次

TEAM連携で取り組む低炭素社会づくり	1	ひがしひろしま環境家族	28
各TEAMの主な取り組み一覧	2	倉橋の海とくらしを考える会	30
府中町脱温暖化市民協議会	4	脱温暖化プロジェクトせら	32
広島市地球温暖化対策地域協議会	6	くい環境会議	34
くれ環境市民の会	8	福山北部脱温暖化地域協議会	36
エコフォーラムわだ！	10	海田町地球温暖化対策地域協議会	38
脱温暖化ぬまくまフォーラム	12	脱温暖化・門田地域協議会	40
脱温暖化ネットおんど	14	栗原地区地球温暖化対策地域協議会	42
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	16	脱温暖化笑コきたひろ	44
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会	18	エコネットたけはら	46
エコINNくろせ	20	かんきょう会議浮城	48
布野の食と脱温暖化を考える会	22	しのうエコ推進会	50
能美脱温暖化未来会議	24	脱温暖化福山中央地域協議会	52
町づくり脱温暖化やすうら	26	脱温暖化センターひろしまの取り組み	54
		《参考資料》	
		地球温暖化防止対策地域協議会について	56

TEAM連携で取り組む 低炭素社会づくり

各TEAMは、いずれも地域の特性を活かしたユニークな活動を展開しています。

<省エネ術の開発と普及>

- 環境家計簿運動
- 省エネ診断事業
- アイドリングストップ運動
- 緑のカーテンの普及
- 湯たんぽの利用促進
- 雨水利用
- 地中熱利用
- エコクッキング

<ごみ減量への取り組み>

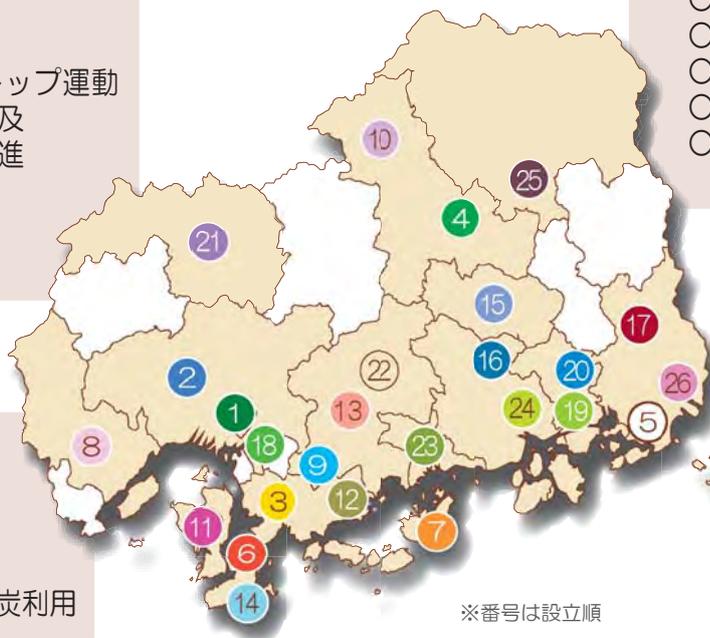
- ごみ分別・3Rの学習会
- マイバッグ・箸・ボトルの推進
- ふるしき学習・利用促進
- 生ごみの堆肥化運動
- 廃食油の利用（石鹸づくり、BDFへの転用）

<その他>

- イベントなどの開催・出展
- オリジナルグッズや教材の作成
- 地域清掃
- 自然エネルギーなどの環境学習
- 魚類相調査

<吸収源対策>

- 農業体験
- 木工教室
- 植樹・里山づくり
- もみから薫炭・竹炭利用



※番号は設立順

関係者との調整
資金管理など

削減効果測定及び
集約等のアドバイス

脱温暖化センターひろしま

事業全体の進行管理・情報収集及び発信・
実践状況及び成果の集約・成果物集の作成に向けた調査など

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 府中町脱温暖化市民協議会 ② 広島市地球温暖化対策地域協議会 ③ くれ環境市民の会 ④ エコフォーラムわだ！ ⑤ 脱温暖化ぬまくまフォーラム ⑥ 脱温暖化ネットおんど ⑦ 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会 ⑧ 地球温暖化対策はつかいちさくら協議会 ⑨ エコINNくろせ ⑩ 布野の食と脱温暖化を考える会 ⑪ 能美脱温暖化未来会議 ⑫ 町づくり脱温暖化やすうら ⑬ ひがしひろしま環境家族 | <ul style="list-style-type: none"> ⑭ 倉橋の海とくらしを考える会 ⑮ 脱温暖化プロジェクトせら ⑯ くい環境会議 ⑰ 福山北部脱温暖化地域協議会 ⑱ 海田町地球温暖化対策地域協議会 ⑲ 脱温暖化・門田地域協議会 ⑳ 栗原地区地球温暖化対策地域協議会 ㉑ 脱温暖化笑コきたひろ ㉒ エコネットひがしひろしま ㉓ エコネットたけはら ㉔ かんきょう会議浮城 ㉕ しのをエコ推進会 ㉖ 脱温暖化福山中央地域協議会 |
|---|--|

各TEAMの交流・協働の場として、「広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会」＝通称「TEAMMATE（チームメイト）ひろしま」を設立し、連携事業などに取り組んでいます。

あなたの地域ではTEAMがこんな活動をしています



	緑のカーテン	省エネ診断	環境家計簿記帳運動	エコドライブの推進	3Rの推進
府中町脱温暖化市民協議会	■	■	■		■
広島市地球温暖化対策地域協議会	■	■	■		
くれ環境市民の会	■	■	■	■	■
エコフォーラムわだ!					■
脱温暖化ぬまくまフォーラム	■	■	■		■
脱温暖化ネットおんど	■				■
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会		■	■	■	■
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会			■		■
エコINNくろせ		■	■		
布野の食と脱温暖化を考える会	■	■	■	■	
能美脱温暖化未来会議	■				
町づくり脱温暖化やすうら	■				■
ひがしひろしま環境家族	■	■	■		
倉橋の海とくらしを考える会	■				
脱温暖化プロジェクトせら	■		■	■	■
くい環境会議	■		■		
福山北部脱温暖化地域協議会	■		■		
海田町地球温暖化対策地域協議会	■	■			
脱温暖化・門田地域協議会	■		■	■	■
栗原地区地球温暖化対策地域協議会	■		■	■	■
脱温暖化笑こきたひろ		■	■	■	
エコネットたけはら	■	■	■	■	
かんきょう会議浮城	■	■	■		■
しろうエコ推進会	■				
脱温暖化福山中央地域協議会	■		■	■	■

府中町脱温暖化市民協議会

(緑の仲間づくりプロジェクト)

平成 14 年 9 月 12 日に設立。

個人・団体・事業者・行政が協働し、人にも環境にもやさしい町づくりの広がりをめざして、さまざまな活動を展開しています。

■会員数 個人：17人

団体数：4団体／1事業所



活動のあゆみ

平成 19 年度 ● 地域環境通貨「エコマネー」の発行・管理・運営【～H25】

● 植樹、育樹活動【～継続】

● イベント「緑の仲間フェスタ」の開催【～継続】

● 環境学習出前講座【～継続】

平成 20 年度 ● 町の街路樹の CO₂ 吸収量調査【～継続】

● アイドリングストップ運動の実施

● レジ袋削減（マイバッグ持参）運動

平成 21 年度 ● 環境家計簿推進運動【～継続】

● 家庭でできる生ごみ削減運動【～H22】

平成 24 年度 ● 緑のカーテンコンテスト【～継続】

● 緑のカーテン講習会の開催

平成 26 年度 ● 緑のカーテン講習会の開催



今後の展望など

「地球温暖化」「食」「緑」「3R」のオリジナル教材を作成し、町内の小学校で地球温暖化学習を推進していきます。

主な活動

●環境学習出前講座

府中町内の小学校や地域住民、各種団体を対象に、

- ・オリジナルの教材を活用し、「脱温暖化」や「省エネ」をテーマとした学習会
- ・エコクッキング
- ・リユース工作 などを実施。

平成 25 年度は、各種団体を対象に4回・小学生を対象に1回実施。



●「緑の仲間フェスタ」の開催

見て・聞いて・体験できる脱温暖化イベント。当協議会が主体となり、平成19年度から毎年実施している。

町内の環境関連団体や町民に呼びかけ、環境講演会や活動発表会、リユース市、廃油石鹸・エコグッズの販売などを行う。



●緑のカーテン普及活動

夏場の省エネ取り組みの一環として、町民や事業所を対象に緑のカーテン講習会や緑のカーテンコンテストを行い、町内での普及を目指している。コンテストの結果は、イベント「府中つばき祭り」で表彰。



①るさと ②きゅうが
③ゆたかに ④うるおう、
まちづくり

一人ひとりが、エネルギーの無駄を省くことの大切さに気づき、無駄を減らすことを継続できるよう支援し、緑の地球を守る仲間づくりを行っています。

事務局連絡先

【住所】〒735-8686
安芸郡府中町大通 3-5-1
府中町役場生活環境部環境課環境政策係内
【TEL】082-286-3247
【FAX】082-286-4022
【メール】kankyouka@town.fuchu.hiroshima.jp

広島市地球温暖化対策地域協議会

平成 15 年 10 月 28 日に設立。

温暖化防止活動を行う市民・事業者・環境 NPO・行政が連携しながら活動しています。

メンバー自らが温暖化防止活動に積極的に取り組むとともに、市民や事業者の自主的な取り組みを促す活動を行っています。

■会員数 個人：37 人，団体数：13 団体



活動のあゆみ

平成 15 年度 ● エコ川柳事業 【～継続】

平成 16 年度 ● ひろしま温暖化ドクター事業 【～平成 25 年度】

● イベント「ひろしま温暖化ストップ！フェア」【～継続】

平成 20 年度 ● 環境学習支援事業〔高校生環境ネットワーク広島〕【～継続】

● 省エネ電球キャンペーンの実施 【～平成 22 年度】

平成 21 年度 ● 草の根省エネ診断事業 【～継続】

● 事業所の省エネ診断 【～平成 26 年度】

平成 22 年度 ● eco ちゃりワーキング 【～継続】

● 情報誌による情報発信事業 【～継続】

平成 24 年度 ● 緑のカーテン普及事業 【～平成 25 年度】



目標は
2050 年
70%削減！

今後の展望など

広島市が掲げる「2050 年までに二酸化炭素排出量を 70%削減」を達成するため、省エネに関する情報発信を行うことが当協議会の大きな任務だと考えています。

所期の目的を一層推進するため、市内の諸団体、公民館、小・中学校等と連携を図りながら、今までの活動に加えて、出前授業・セミナーなどに力を入れて取り組んでいきます。

主な活動

●草の根省エネ診断事業

イベント等の来場者を対象に省エネ診断を行い、各家庭に適した省エネの取り組みを提案する。

《実績》

平成 23 年度：イベント数 11 回 232 名を診断
 平成 24 年度：イベント数 8 回 155 名を診断
 平成 25 年度：イベント数 6 回 179 名を診断
 平成 26 年度：イベント数 4 回 129 名を診断



●事業所の省エネ診断事業

中小規模の事業所へ省エネに関する専門知識を有する診断員を派遣し、効果的なアドバイスを行う。平成 25 年度までに 13 事業所を診断。

●「ひろしま温暖化ストップ!フェア」の開催

市民や事業者に省エネ行動等に関する情報を発信し、温暖化防止への関心と理解を深め、環境負荷の少ないライフスタイルを提案する。

●ひろしま温暖化ドクター事業

モニターを募集し、家庭で使用する電気やガス等のエネルギー使用量を毎月収集分析・報告するとともに、各家庭のライフスタイルに合った省エネアドバイスを行う。

事業を開始して 10 年目を迎えた平成 26 年度は、集大成としてシンポジウムを開催。

●環境学習支援事業

高校生等を対象に、温暖化対策に向けた講義やセミナーなどを開催することで、環境学習の支援を行っている。



●情報誌による情報発信

市民への温暖化防止に関する情報提供及び会員間の情報共有を図るため、情報誌「I Love 地球」を年 4 回発行している。



●エコ川柳事業

ライフスタイルをエコロジーやエコノミーの視点からみた川柳を広く募集。平成 15 年から募集した作品の中から 215 作品を選出し、学習会等で活用することで、日常の暮らしを見直すきっかけとする。

●eco ちゃりワーキング

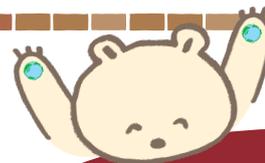
自動車から自転車への転換を促し、CO₂ 排出量の削減につなげる。

《実績》

平成 23 年度：スーパー等でのアンケート調査、エコちゃり談義

平成 24 年度：市民フォーラムを開催

平成 25・26 年度：フィールドワークを実施



温室効果ガス排出量の削減は、今までの快適な生活を制約されるように受け止められがちですが、快適さを維持しつつ発展的な気持ちで削減する方法を一緒に考えていきましょう！

事務局連絡先

【住所】〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号
 (広島市環境局温暖化対策課内)

【TEL】082-504-2185

【FAX】082-504-2229

【メール】ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

【HP】「広島市地球温暖化対策地域協議会」で検索

くれ環境市民の会

平成 15 年 11 月 4 日に設立。

市民・事業者・行政が共に考え共に行動し、環境に調和した人と地球にやさしい“わがまち呉”の実践をめざすパートナーシップ組織です。

「生活環境」「環境学習」「自然環境」「資源・エネルギー」の4つの部会を設け、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

■会員数 個人：170人， 団体数：53団体



活動のあゆみ

平成 15 年度 ●「くれエコフェスタ」の開催 【～継続】

●自然観察会 【～継続】

●ニュースレターによる情報発信 【～継続】

平成 16 年度 ●生ごみダイエット事業 【～継続】

●出前環境講座 【～継続】

●環境講演会 【～継続】

●マイバッグ持参運動 【～21 年度】

●キャンドルナイトの実施 【～22 年度】

平成 17 年度 ●連続環境講座「くれ環境市民大学セミナー」の開催 【～継続】

平成 18 年度 ●インターネットによる情報発信 【～継続】

平成 19 年度 ●エコドライブの推進 【～継続】

●カーボンオフセットの推進 【～継続】

平成 20 年度 ●緑のカーテンコンテスト 【～継続】

平成 21 年度 ●エコ屋台による普及啓発活動 【～継続】

平成 25 年度 ●「クールシェア・ウォームシェア」教室 【～継続】



今後の展望など

灰ヶ峰や野呂山の山々、倉橋島や安芸灘の島々など、四季折々の豊かな自然環境に恵まれた呉市を次世代に引き継いでいくため、くれエコフェスタを活動PRの場として最大限活用し、多様な参加者と協働しながら省エネなどの温暖化防止活動や自然観察会などの活動を展開していきます。

主な活動

●くれエコフェスタ

企業・団体・学校等が連携し、毎年秋に呉ポートピアパークで開催する体験型環境イベント。工作教室やクイズラリー、環境保全活動のパネル展示等を行い、参加者の自主的なエコライフの実践を促進。



●“エコ屋台”による普及啓発活動

誰もが興味を持てる広報スタイルとして、呉名物の屋台をヒントに“エコ屋台”を考案。「節電おでん」や「マイボトル」などユニークなメニューを揃え、屋台を訪れた人が自分に合った活動方法を見つけ、実践するよう呼びかけている。

●出前環境講座

市内の小中学校において「資源の分別」や「3Rとエコクッキング」をテーマに実施。省エネや環境にやさしい調理法などを実践しながら学んでもらう。



●環境保全型農作の促進事業

生ごみ堆肥で環境保全型野菜栽培に取り組む「ゆうきの里」に隣接して、無農薬で赤米や黒米などを栽培。体験教室を通じて環境保全型農業のPRに努めている。



●クールシェア・ウォームシェア教室

各家庭のエネルギー消費を低減する温暖化防止運動の一環として、酷暑・酷寒時に公民館等に集まり、資源やエネルギーに関する体験講座等を開催。

●自然観察会

★どんぐり塾

自然観察や草刈り等の体験を通じて、環境問題や森林に関する知識を習得

★黒瀬川観察会

水質検査や野鳥観察会を実施

★灰ヶ峰自然観察会

鳥類生息調査や植物調査を実施



くれ環境「市民」は、呉に住む人だけでなく、市外に住み、呉で働く人も「市民」と考えています。

是非、くれ環境市民の会に入会し、呉の環境を良くしていきましょう。

事務局連絡先

【住所】〒737-8501

呉市中央4-1-6

呉市環境部環境政策課内

【TEL】0823-25-3301

【FAX】0823-32-1621

【メール】kansei@city.kure.lg.jp

【Facebook】「くれ環境市民の会」で検索

エコフォーラムわだ！

平成 16 年 12 月 9 日に設立。

地域の住民自治組織「和田自治連合会」から事業者や環境関係NPO、行政に呼びかけ結成。特に、小学校での環境学習に力を入れ、子ども達と地域住民が共に学習できる機会を提供しています。

■会員数 個人：1,730 人

団体数：27 団体

(会費制ではなく、和田地区の全住民と団体で組織している)



活動のあゆみ

- 平成 16 年度 ● 地域住民対象の環境学習
(自然エネルギーの活用や資源循環型のまちづくりなど) 【～継続】
- 平成 17 年度 ● 小学校での環境学習 【～継続】
 - 里山保全と食育体験活動 【～継続】
- 平成 18 年度 ● ごみの減量とマイバッグキャンペーンの実施 【～継続】
 - 間伐材で作ったペレットを燃料とするペレットストーブの普及活動 【～継続】
- 平成 19 年度 ● 廃食油を回収し、BDFに精製して農機具への利用と普及活動 【～継続】
- 平成 22 年度 ● 地中熱を利用した冷暖房システムを農業ハウスに応用 【～継続】
 - 小学校へ雨水タンク設置し、花壇や運動場の散水に活用 【～継続】



今後の展望など

地域住民の地球温暖化への理解度は向上し、太陽光発電や太陽熱での温水システムを設置する家庭も増加しました。また、ごみの減量と分別収集への協力度、省エネへの認識も向上しています。

「エコフォーラムわだ！」は、これからも小学校での環境学習を中心に、地域住民の暮らしに密着した実践的な活動を展開していきます。

主な活動

●小学校での環境学習

和田小学校での環境学習会「地球温暖化とわたしたちの暮らし」を、年間 10 時間支援している。

平成 26 年度は、“地中熱”を利用した農業ハウスでピーマンの栽培に取り組み、苗の植え付けや成長観察、収穫体験を実施。

また、三原市佐木島の自然海浜公園に出向き、流れ着くごみの状況や瀬戸内海の環境保全について学習するほか、ごみ回収活動も体験。



●里山保全と食育体験活動

耕作放棄地や遊休農地を利用した『とらたん畑』において、無農薬・無化学肥料を使った野菜の植え付けから収穫までを体験することで、親子での里山保全と食育体験の場としての役割を担っている。

また、4ha の林を手入れして作った『こどもの森』では、間伐材や竹を使った工作や炭焼き、窯を使ったピザ作りなど、子どもと一緒に里山の恵みと地球環境への役割を体験しながら学習できる場を提供している。



まちづくり、人づくり、里山づくりを通して、脱温暖化に貢献していきます。

無農薬・無化学肥料で作った「とらたん畑」は地域通貨の概念を取り入れて会員募集・活動中です。一緒に野菜を作ってみませんか！

事務局連絡先

【住所】〒729-6206

三次市向江田町 3358-1

【TEL】0824-66-1050

【FAX】0824-66-1050

【メール】wada-com1@p1.pionet.ne.jp

脱温暖化ぬまくまフォーラム

平成 16 年 12 月 15 日に設立。

女性会を中心に、まちづくり推進委員会・公衛協・JA女性部・小学校・保育園などと連携しながら、イベントへの出展や出前講座、学習会、マイバッグ手作り運動、エコ調理実習、緑のカーテン普及活動などに取り組んでいます。

また、福山市内各地で、各地域のニーズに応じた内容で出前講座を実施しています。

■会員数 個人：70人、団体数：5団体



活動のあゆみ

平成 16 年度○出前講座【～継続】

○マイバッグ手作り講座【～継続】

○和服・古着のリメイク講座【～継続】

平成 17 年度○エコグッズ手作り講座【～継続】

平成 18 年度○エコクッキング講座【～継続】

平成 19 年度○環境家計簿記帳運動【～継続】

○緑のカーテン普及活動【～継続】

平成 22 年度○子どもエコクラブ【～継続】

平成 23 年度○生ごみ堆肥化活動【～継続】

平成 25 年度○食材使い切りエコクッキング講座【～継続】



今後の展望など

最近、「まだ続けているの？着物をあげるよ」と声を掛けられることが多いため、“もったいない隊”を立ち上げ『地球にやさしい暮らしの実践と広報活動』が展開できる仕組みを作っていきます。

主な活動

●出前講座

町内外の保育園や小学校、公民館等へ出向き、オリジナル教材や実験器具などを使って、温暖化の原因や自分たちにできる取り組みなどを楽しく分かりやすく説明。



●和服・古着のリメイク講座

町民へ呼びかけ、家のタンスや引き出しで眠っている和服やスカート・ズボン、壊れた傘などを提供してもらい、帽子（4種類）・腕カバー（3種類）・ちゃんちゃんこ・エコバッグ・エプロン・キッチンで使える小物などにリメイクする講座を開催。



●エコグッズ手作り講座

【鍋帽子・鍋ふろしきづくり】※鍋帽子は、全国友の会の商標登録です。

町民から不要になった布団や毛布を提供してもらい、小学校や公民館などで開催。保温のタイミングやエコな裏技などを紹介するほか、保温実験と試食会も行うなど、楽しみながら実践につなげてもらえるよう工夫。

【牛乳パック活用グッズ】

廃品回収で集めた牛乳パックを使った椅子・机・おつまみ入れ・花瓶・小箱づくり

【ペットボトル湯タンポ袋づくり】

町民から提供してもらった毛布などを活用しペットボトル湯タンポ袋づくりなど通じて、物を大切に作る心を養う。



●緑のカーテン普及活動

7小学校・2保育園・6事業所へ、前年度回収したゴーヤの種を蒔いて育てた苗を配布。要望に応じて、会員が植え付けの手伝いも行う。

●子どもエコクラブ

小学校で毎月1回開催。

＜内容＞

- ・“地球にやさしい暮らしを”を自分達で調べて絵に描き、発表
- ・「アクリルたわし」や「軍手を使ったモップ作り」など、簡単なエコグッズづくりなど



まずは、家の中、特に倉庫や戸棚、箆笥（たんす）の中をしっかりと覗いてみませんか!?

そして、とことん使い切る生活から温暖化防止に向けた一歩を踏み出しましょう。

「小さな一歩 生活の大掃除をしましょう!」

事務局連絡先

【住所】〒720-0403

福山市沼隈町下山南 1122-2

岡田 妙子

【TEL】084-987-0679

【FAX】084-987-0679

【メール】taekookada@tea.ocn.ne.jp

脱温暖化ネットおんど

Eーおんど！昔の生活を思い出そう

自然への負荷の少ない環境に優しい町づくりをめざし、住民・環境NPO・事業者・行政などと連携し、平成17年2月5日に発足しました。

■会員数 団体数：8団体



活動のあゆみ

- 平成 17 年度 ● 竹炭製炭事業 【～継続】
- 空き缶回収事業 【～継続】
 - 脱温暖化！冬の湯たんぼ活用運動 【～継続】
 - 打ち水 de クールダウン 夏の町内一斉打ち水運動 【～継続】
 - 音戸フェスティバル「環境エコハウス」へ出展 【～継続】
- 平成 21 年度 ● 3M(My 箸、My バッグ、My カップ) 持参事業 【～継続】
- 平成 22 年度 ● 使用済みてんぷら油回収リサイクル運動 【～継続】
- 「スポーツ GOMI 拾い」への参加 【～継続】
 - 音戸の瀬戸公園周辺緑化整備事業 【～継続】
- 平成 25 年度 ● 里山整備・除草・植樹 【～継続】

今後の展望など

今後3年間かけて、以下の廃棄物リサイクルルートの拡充を図ります。

- 家庭用消火器、廃棄タイヤ、バッテリー（復活事業）
- 鍋、釜、草刈り機の替刃（新規事業）
- 廃プラスチック（新規事業）
- 落ち葉の堆肥化（新規事業）
- リサイクルプラザの運営（新規事業）



主な活動

●竹炭製炭事業

カキの養殖には欠かせない「カキ筏」は竹を材料としており、使用後の処理に苦慮していた。

そこで、ドラム缶窯を使った竹炭づくりをスタートさせ、子どもたちを対象に、竹炭を利用した風鈴づくり教室を開催。冷房器具の使用を控えるよう呼びかけ、CO₂の削減につなげる。



●3M持参運動

(My 箸・My バッグ・My カップ)

～ take a shopping basket ～

会員である女性会が3Mセットを作成し、持参してくれる人を募集・配布。外出時に3Mセットを持参してもらい、割り箸や紙コップ、レジ袋などの使用を控えてCO₂の削減をめざす。



●空き缶回収事業

町内 21 カ所に回収ボックスを設置。回収したアルミは有価物として売却し、自主財源として活用している。

●使用済みてんぷら油 回収リサイクル運動

各自治会に廃油の回収BOXを設置し、使用済みのてんぷら油を回収。

随時、会員が回収し、業者に受け渡しBDF燃料に精製してもらう。精製したものはタイヤショベルに活用し、これまで焼却処分していた廃油をリサイクルしてCO₂の削減を図る。



●打ち水 de クールダウン

脱温暖化！夏の一齐打ち水運動

打ち水用の柄杓づくり教室を開催するとともに、7～9月の第2日曜日の夕方5時に、町内で一齐に打ち水を実施。

2時間程度を目安に冷房器具の使用を控え、うちわなど電気を消費しないものを使って過ごすよう呼びかけ、CO₂を削減する。



地球温暖化対策に係わる瀬戸内海の自然環境を保全することは、協議会として果たさなくてはならない大きな仕事です。

全会員が、他人事ではなく、我が事だと理解し、地域のリーダーとして活躍していくよう頑張ります！

過疎化・高齢化による地域の荒廃を、みんなで力を合わせて克服していきましょう！！

事務局連絡先

【住所】〒737-1217

呉市音戸町渡子 1-5-25

(日附環境美化センター内)

【TEL】0823-52-0100

【FAX】0823-52-2999

【メール】hara4917@yahoo.co.jp

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

合併に伴い新たに誕生した大崎上島町公衆衛生推進協議会がめざしたのが「けんこう文化の島づくり」。

その実現に向け、脱温暖化プロジェクトを結成。やがて公衛協を中心に各種団体と連携した地域協議会として、平成 17 年 11 月 27 日に「大崎上島けんこう文化の島づくり協議会」を設立し、脱温暖化の島づくりをめざして活動しています。

■会員数 個人：29人



活動のあゆみ

- 平成 17 年度 ● アイドリングストップ運動（港の駐車場にて実施）【～継続】
 - 環境学習会の開催 【～継続】
 - 町広報での情報発信 【～継続】
- 平成 18 年度 ● 町内のイベント等での脱温暖化啓発活動 【～継続】
 - マイバッグ持参運動 【～平成 21 年度】
 - 環境紙芝居出前講座 【～継続】
- 平成 19 年度 ● 各地区の総会や小・中学校での出前講座 【～平成 20 年度】
- 平成 22 年度 ● 省エネ診断 【～継続】
 - アイドリングストップ運動（スーパーの駐車場にて実施）【～継続】
- 平成 23 年度 ● アイドリングストップ抜き打ち調査 【～継続】
- 平成 24 年度 ● 年間環境家計簿啓発活動 【～継続】
- 平成 26 年度 ● 活動内容などをまとめたチラシを町内全戸に配布

今後の展望など

- ・ 現在、継続中の活動をさらに進めて拡げていくためのアイデア出しを行う。
- ・ 「アイドリングストップ」だけでなく、“エコドライブ”について普及啓発していく。
- ・ アイドリングストップ運動を学生と協働で実施し、テレビ取材を通じて広く活動を PR していく。



主な活動

●アイドリングストップ運動

港やスーパーの駐車場において、啓発用のぼり旗と看板を設置し、乗客や買い物客にアイドリングストップを呼びかける。平成 24 年度からは、地元の小学生や広島商船高等専門学校生も一緒に活動。



また、毎月 1 回、抜き打ちでアイドリングストップ実践状況をチェックしたり、エコドライブ啓発チラシ・うちわの配布、アンケート調査にも取り組み、意識の向上と継続的な実践を促す。

平成 25 年度は、港で 8 回・スーパーで 4 回実施。

●省エネ診断

イベント「産業文化祭」において、来場者を対象に家庭でどの程度エコライフに取り組んでいるのかを診断し、診断結果を基に、効果的な省エネの技をアドバイスする。



●年間環境家計簿啓発活動

我が家のエネルギー使用実態を把握し、無駄なエネルギー消費を抑制することで温暖化防止を推進しようと、町民に 1 年間の電気・ガス・灯油・ガソリン・軽油・水道使用量の記録を依頼。

協力者には、前年同月比から CO₂ 削減効果を算出し、「CO₂CO₂ (コツコツ) 頑張ったで賞」を授与。省エネへの関心を高めてもらうとともに、家庭での継続的な省エネ実践を促す。



●環境紙芝居出前講座

幼稚園や保育所において、環境紙芝居を使って環境について啓発。

平成 25 年度は 4 回実施。



●広報活動

当協議会の活動内容などをまとめたチラシを作成し、町内全戸に配布するほか、町の広報などを通じて活動を PR。



5秒からアイドリングストップ！一人ひとりが自覚して脱温暖化を目指そう！！

大崎上島町から発信し、アイドリングストップ実践率 100%を目指します。

県民の皆さんも、“5秒からアイドリングストップ！”

事務局連絡先

【住所】〒725-0401

豊田郡大崎上島町木江 4968 番地

【TEL】0846-62-0303

【FAX】0846-62-0304

【メール】

hoken01@town.osakikamijima.hiroshima.jp

地球温暖化対策はつがいちさくら協議会

地球温暖化防止活動推進員を中心とした有志9名が、100名以上の個人・法人会員を募り、平成18年3月10日に設立。

主に、家庭部門の温暖化対策を普及啓発し、環境にやさしい人づくり・まちづくりをめざし活動しています。廿日市市は合併により市域が広がったため、より多くの市民に啓発するために年間を通じて市内各地の小学校や公民館を巡り、環境学習会を開催しています。

■会員数 個人：78人，法人：18社
団体数：2団体



活動のあゆみ

平成18年度 ● 出前講座【～継続】

- マイバッグ普及運動
- アイドリングストップキャンペーン
- 環境家計簿の普及啓発【～継続】
- エコクッキングの普及【～継続】

平成20年度 ● 小学校での地球温暖化防止教室の実施【～継続】

- エコカフェ（市民センターでの環境学習会）【～継続】
- イベントでの啓発活動【～継続】



今後の展望など

平成20年度から小学校や市民センターでの講座を始めて6年。子どもの数が減少し、子どもを取り巻く小学校や地域の事情も変わってきていると感じます。

今後の環境教育を進めるために、学校の先生と地域の団体、行政との関係づくりを進めていきたいと考えています。

主な活動

●地球温暖化防止教室

「水」「食」「ごみ」「省エネ」の4チームが市内の小学校で、地球温暖化と各テーマの関係や、温暖化防止に向けた取り組み（自分たちにも実践可能な取り組み）を分かりやすく説明。

各チームとも、実験やクイズ、エコクッキングなどを盛り込み、子どもたちが楽しみながら学べるよう工夫。

平成26年度は小学校で9回、361人を対象に実施。



●エコカフェ（環境学習会）

あまり環境問題に関心のない人にも気軽に参加してもらえるよう、市内20カ所の市民センター（公民館）を巡り、エコカフェを開催。

エコクッキングと環境学習を組み合わせた“楽しくておいしくてためになる”内容で実施。

平成26年度は公民館で7回、103人を対象に実施。

*「エコカフェ」とは、“お茶でも飲みながら楽しくエコ談義でもしましょう!”という思いを込めている。



●イベントでの啓発活動

廿日市市内で行われるイベントに出展し、エコクイズやエコチェック、エコのみ焼きの販売などを実施。多くの人に温暖化や環境問題に関心を持ってもらうとともに、自分たちにできるエコ活動を啓発。

平成26年度は「はつかいち桜まつり」「はつかいち環境フェスタ」に出展し、約800人がエコクイズ、エコチェックに参加。「はつかいち環境フェスタ」では200人にエコのみ焼きを販売。



はつかいちさくら協議会のモットーは「無理なく楽しくできること」です。無理をしなくても、無駄をなくすこと、無駄に気づくことで減らせるCO2はたくさんあるはず。

一人ひとりが楽しみながらできることを続けてみましょう!

●環境家計簿の普及啓発

誰もが気軽に始められて、楽しく続けられる環境家計簿を平成25年度に作成。平成26年度はエコカフェにおいて普及啓発に努めた。

事務局連絡先

【住所】〒738-0014

廿日市市住吉2丁目2-14

廿日市市市民活動センター内

メールボックス1-04

【TEL】082-258-3980(菅川)

【FAX】082-258-3980

【メール】mimai@xd5.so-net.ne.jp

エコ INN くろせ

くろうせすらくらく楽しいエコ生活

平成 18 年 3 月 22 日に設立。

自分たちにできる身近な脱温暖化行動を地域ぐるみで推進し、環境にやさしい町づくりを進めています。

エコ INN くろせの「INN」は「宿」を意味し、環境にやさしい活動や思いが黒瀬町に宿るようにと名付けました。

■会員数 個人：65 人



活動のあゆみ

平成 18 年度 ● 環境学習 【～継続】

- エコクッキング講座 【～継続】
- 「黒瀬町健康福祉まつり」への出展 【～継続】
- 自転車キャラバン隊 CO₂ 削減キャンペーン 【～継続】
- エコ INN くろせ定期講演会 【～継続】

平成 19 年度 ● 大樋川・保光川ハウマッチ 【～継続】

- 「東広島市生涯学習フェスティバル」への出展 【～継続】

平成 21 年度 ● 家庭の省エネ診断 【～継続】

- いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト・粃殻クン炭づくり 【～継続】

平成 23 年度 ● いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト・竹炭づくり 【～継続】

- 「ひがしひろしま環境フェア」への出展 【～継続】

平成 25 年度 ● 緑のカーテン普及活動 【～継続】

平成 26 年度 ● エコキャップ・プルタブ回収運動

- エコ活動 PR 冊子の作成

今後の展望など

○ いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト

・・・クン炭と竹炭の活用方法を拡大し、町内・県内に広める。

○ 環境学習・・・現在の活動内容を充実させながら継続していく。

○ 温暖化防止啓発活動・・・現活動に加え「省エネ診断」を重点的に実施し、家庭の省エネを推進していく。



主な活動

●いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト

① 籾殻クン炭づくり

メディアを通じて取り組みをPRしたところ、見学希望やクン炭機の貸し出し、クン炭が欲しいとの問い合わせが殺到するほか、自らクン炭を作る仲間も増えた。

② 竹炭づくり

放置竹藪の竹を切り出し、オリジナルのドラム缶式窯を使って竹炭を製作。クラフトや脱臭袋に活用するほか、野菜の栽培にも役立つなど、竹炭の活用方法を研究し利用者の拡大を図る。



●農業体験を交えた環境学習



地元の小学生を対象に、

- ・田植えおよび稲刈り体験（5年生）
- ・用水路の見学（4年生）
- ・蛭籠づくり（1、2年生）
- ・エコッキング講座（1年生）
- ・黄金小麦の麦踏み体験・うどんづくり
- ・保光川ハウマッチ
（広島大学生による「みずのおはなし」）
- ・匠の技
（大工さんの指導で、本立てを作成）
などを実施。



●温暖化防止啓発活動

- ・自転車キャラバン隊 CO₂ 削減キャンペーンを年1回実施
- ・エコINNくろせ定期講演会を年2回開催
- ・イベント（ひがしひろしま環境フェア・東広島市生涯学習フェスティバル・黒瀬町健康福祉まつり）へ出展し、竹炭を使ったクラフトづくりや蛭籠づくり、省エネ診断を実施。



エコINNくろせと同様の活動を行っている方や、興味を持っている皆さん、ぜひ交流しましょう！

お互いの成功事例や失敗事例、困っていることなどを共有し、話し合えば改善・発展していけると思います。

事務局連絡先

【住所】〒739-2622
東広島市黒瀬町乃美尾 2123
乃美尾ふれあい館内
【TEL】0823-82-0451
【FAX】0823-82-0451
【メール】ekoinnkurose@gmail.com

布野の食と脱温暖化を考える会

平成 18 年 9 月 23 日に設立。

三次市布野町は、田畑や山に囲まれた地域で、産業と言えば「農業」が中心であることから、『食』を切り口に、地球温暖化防止活動推進員とその仲間達が、さまざまな脱温暖化活動を展開しています。

■会員数 個人：100 人， 団体：5 団体



活動のあゆみ

平成 18 年度 ● 環境学習会 【～継続】

- 「布野ふるさとまつり」での啓発活動 【～継続】
- “食” をテーマとした講演会の開催 【～継続】
- 地場産物の推奨 【～継続】
- アイドリングストップ運動 【～継続】
- マイ箸・マイ箸袋活用の推進と販売 【～継続】

平成 20 年度 ● 廃油回収と利用促進 【～継続】

平成 21 年度 ● 廃油を使ったローソクや石鹼づくり 【～継続】

平成 22 年度 ● みどりのカーテン普及事業 【～継続】

平成 25 年度 ● イベント「おいで～やあ横谷の大自然の中へ」での啓発活動 【～継続】



「食」を
切り口に
脱温暖化へ

今後の展望など

私たちの先人達は、“もったいない”精神で物の価値を生かし、資源を浪費せず、次世代に残してきました。この精神をしっかり受け継ぎ、日常の暮らしの中で活かしていくことが、私たちにできる小さなエコの一步だと思います。

これからもこの思いを忘れず活動を続けていきます！

主な活動

●環境学習会

小・中学校での環境学習

<小学校>

さまざまな体験型学習会を実施

- ・どんぐりの植え付け（3年生）
- ・大豆の植え付けと収穫、豆腐づくり（3年生）
- ・水辺教室（4年生）
- ・廃油を使ったローソクや石鯨づくり（4年生）
- ・植樹体験（6年生）

<中学校>

3年生を対象に、年1回「アサヒの森」において、森林の働きや山菜などについて学習

放課後児童クラブ

夏休み中の小学1～6年生を対象に実施

- ・環境紙芝居の上演
- ・小水力発電の話
- ・エコクッキング

など



●イベントでの啓発活動

おいで～やぁ横谷の大自然の中へ

～夏休み！あそび体験フェスタ あおぞら木舎～

- ・地産地消の旬な野菜を使ったカレーの販売
- ・間伐材を使った工作体験、遊び場コーナー
- ・廃油ローソクづくりコーナー
- ・自然体験プチツアー

など、楽しみながら資源や環境保全の大切さを実感してもらう。

また、来場者には市指定のごみ袋を配布し、ごみの持ち帰りを呼びかけることで、ごみの出ないイベントをめざす。



布野ふるさとまつり（毎年10月に開催）

- ・エコたわし（アクリルたわし）の販売と編み方体験コーナー
- ・廃油ローソクづくりコーナー
- ・「環境にやさしい行動」に関するアンケートなどを通じて、環境にやさしい行動について考えてもらう。

●みどりのカーテン普及事業

小・中学校、道の駅「ゆめランド布野」、JA、福祉センター、公衛協と連携し、学校や道の駅などへ緑のカーテンを設置。

また、小学校4年生の保健委員会委員と一緒に、ゴーヤを使った料理教室を実施。



知恵を出し合い、一人ひとりができる小さなエコから取り組むことで、一緒に温暖化を食い止めよう！



事務局連絡先

【住所】〒728-0201

三次市布野町上布野 1196-1

布野町まちづくり連合会内

【TEL】0824-54-2119

【FAX】0824-54-2956

能美脱温暖化未来会議

**脱温暖化を目指し、
未来に向かってゆっくり
あせらず飛び続けよう！**

平成 18 年 10 月 21 日に設立。

脱温暖化の呼びかけにあわせて、買い物袋の持参や環境にやさしい家電の購入促進など、実際の行動に結びつけられるテーマを掲げながら活動しています。会の名称は、次世代に少しでも良い環境を残したいとの思いから名付けました。

■会員数 個人：15 人



活動のあゆみ

平成 17 年度 ●マイバッグ持参運動の実施 【～平成 20 年度】

●環境総合学習会 【～継続】

平成 19 年度 ●「えーのーで真道山千本桜復元」活動

平成 20 年度 ●主要公共施設の待機電力及び能美町の待機電力調査

平成 21 年度 ●地引網漁による
暖海性魚介類の侵入状況調査 【～平成 25 年度】

●グリーンカーテン普及事業 【～平成 26 年度】

今後の展望など

子どもたちが楽しみながら、鹿川の環境の変化の伝承授業として、鹿川湾の環境や陸（生活環境、道路環境、河川環境、農地環境、森林環境など）の環境を、行政（国、県、江田島市（環境課））などと連携・協働しながら継続的に実施していきます。



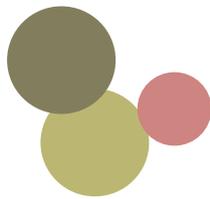
主な活動

●環境総合学習会

小学校 5 年生を対象とした環境総合学習会の学習プログラムを、学校の担任と話し合って作成。さまざまな内容で実施し、成果を壁新聞にまとめ、発表する。

＜プログラム内容＞

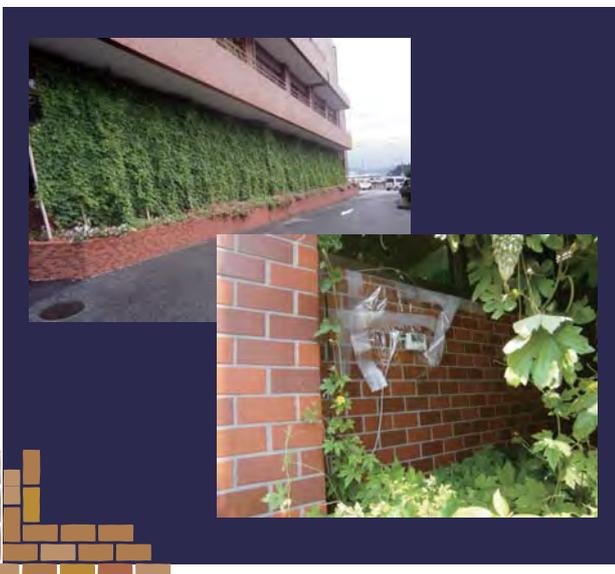
- ・省エネに向け、家庭の中でできる工夫を考えよう
- ・専門家から、鹿川湾の海水温の上昇がカキ養殖に及ぼす影響や魚種の変化、漁獲量の変化などのお話を聞く
- ・鹿川湾の砂浜で清掃と分別を体験
- ・瀬戸内海の環境について出前講座による学習
- ・地域の環境変化を写真やデータで調べよう
- ・地引網による暖海性魚介類の侵入状況調査
- ・学んだことや調べた内容を壁新聞にまとめ、みんなの前で発表 など



●グリーンカーテン普及事業

役場と協力し、役場の壁面にゴーヤを使ったグリーンカーテンづくりを実施。人の目に付きやすい役場に設置して、グリーンカーテンの普及啓発および省エネへの意識を高めている。

平成 23 年度は、建物の壁面と外気温の記録・調査を行うなど、カーテンによる効果を検証。



学校の先生と子ども達と一緒に環境学習プログラムを作っています。一方的な環境学習ではないよ！一度見に来てみんさい。

事務局連絡先

【住所】〒737-2302
江田島市能美町鹿川 558-1
【TEL】0823-40-2188
【FAX】0823-40-2189
【メール】consaru-kks@luck.ocn.ne.jp

町づくり脱温暖化やすうら

「家庭の生ごみの減量」を入り口に、暮らしの中で発生する温室効果ガスの削減をめざした活動を推進しようと、平成 19 年 5 月 11 日に設立。

次世代を担う子どもたちと一緒に環境学習や脱温暖化実践活動に取り組み、五感を使って地域の環境変化を体感しながら、温暖化防止活動を推進しています。

■会員数 個人：20人，団体数：9団体



活動のあゆみ

平成 19 年度 ● 水辺教室 【～継続】

● みちクリーン活動 【～継続】

● 生ごみ減量と堆肥化運動 【～継続】

● 川の水質浄化活動（町内の川へ EM 発酵液と EM だんごを投入）【～継続】

● 休耕田活用事業 【～継続】

● 野呂川の清掃活動 【～継続】

平成 20 年度 ● 里山・水産教室 【～継続】

● マイバッグキャンペーン 【～平成 22 年度】

● 知産知食エコッキング教室 【～継続】

平成 22 年度 ● 1万人のエコチェック事業 【～継続】

平成 23 年度 ● グリーンカーテン普及活動 【～継続】

● 野呂川自然学校 【～継続】

平成 26 年度 ● 省エネ研修会 【～継続】



今後の展望など

子どもたちと一緒に、自然観察や環境保全活動を通じて、自然環境の変化を感じ、温暖化防止の啓発・普及に取り組んでいきます。

現在実施している活動を長く継続させるとともに、一歩ずつ進み、大きな動きに発展させ、循環型社会をめざしていきます。

主な活動

●省エネ普及事業

★公衆衛生推進委員一斉環境家計簿運動 「1万人のエコチェック事業」

9月の検針日までの約1カ月間、各家庭で「電気」の省エネに取り組み、前年同月使用量と比較し効果を『見える化』。

★省エネ研修会

「聞いて得する家庭の省エネ」をテーマに、会員や地域住民を対象に開催。温暖化の現状を学ぶとともに、体験を通じて、自分たちにできることを考える。



●水辺・里山・水産教室

町内の小学生を対象に実施。川の中を観察し、川の環境変化を体感したり、かき養殖やアマモ、希少生物のハクセンシオマネキやウミホタルなどから海の環境変化について学ぶ。



●環境保全活動

- ・年1～3回、町内の川へEM(有用微生物群)発酵液とEMだんごを投入するほか、年1回、JR安浦駅前水路の水質検査を行い、水質浄化活動に取り組む。
- ・年1回、黒地の浜海岸清掃や各自治会による地域清掃を実施。
- ・休耕田を活用し、平成19年度からは「ひまわり畑」を、平成24年度からは「そば畑」づくりを開始。景観を保全するとともに、ひまわり畑にクイズを設置し、脱温暖化への啓発を行う。
- ・野呂川の清掃活動に加え、平成23年度から広島大学と協働で「野呂川自然学校」を年1回開催。



●みちクリーン活動

年1回、町内の小・中学校合同で、通学路のごみ回収に取り組み。



●グリーンカーテン普及活動

平成23年度から、町内の事業所や自治会、学校、個人を対象に普及活動を展開。緑のカーテンコンテストも実施している。



- 自分たちの住んでいる地域の里山や里海を大切に守っていきましょう！
- 温故知新、オールウェイズ(昭和30年代)の暮らしを振り返り、現在の暮らしと比較し、自然に(地球に)やさしい暮らしを心がけましょう！！

事務局連絡先

【住所】〒737-2516

呉市安浦町中央4-3-2

呉市役所安浦市民センター

【TEL】0823-84-2261

【FAX】0823-84-6684

【メール】yasusis@city.kure.lg.jp

ひがしひろしま環境家族

「持続可能な地球を子どもたちに残したい」という思いから、平成 19 年 5 月 24 日に発足。

親と子ども・家族を中心に組み組める活動を広めるため、さまざまな活動に取り組んでいます。

■会員数 個人：25人，団体数：1団体



活動のあゆみ

- 平成 19 年度 ● 市民版排出量取引事業
- 環境家計簿の普及 【～継続】
 - 出前講座 【～継続】
 - 市民を対象とした環境講演会
 - イベントでの啓発活動 【～継続】

平成 21 年度 ● LOHAS セミナーの開催 【～継続】

平成 22 年度 ● 「エコネットひがしひろしま」の運営へ参画 【～継続】

平成 23 年度 ● 耕作放棄地での野菜栽培 【～継続】

平成 24 年度 ● 緑のカーテン講習会 【～継続】

平成 26 年度 ● 親子で環境学習「手作りお菓子づくり」 【～継続】



子どもたちの
のために！

今後の展望など

『子どもたちに持続可能な地球を残したい！』
という思いを継続して、家庭からできることを、できる範囲で実践・
発信していきます！

そして、便利なものに頼らず、LOHASなスタイルを追求してい
きたいと思っています！

主な活動

●緑のカーテン普及事業

身近な温暖化対策として緑のカーテンを普及させるため、毎年5月に、一般市民を対象とした「緑のカーテン講習会」を開催。

JA広島中央の専門家を招き、土作りや苗作り・苗の植え付け方・肥料の種類や追肥の時期・水やりの方法と注意点などを実演しながら指導してもらう。

そして、講習会参加者には苗をプレゼントし、家庭での実践を促す。



●イベントでの啓発活動

「ひがしひろしま環境フェア」や「東広島市生涯学習フェスティバル」などのイベントへ出展。

<出展内容>

- ・当協議会の活動紹介
- ・脱温暖化、省エネ、自然エネルギー利用に関する啓発
- ・木の実を使ったエコクラフトづくりの体験
- ・省エネ診断コーナー



●親子で環境学習

「夏休みに親子で学び！一緒にクッキング！」

「環境と食」について学び、親子で一緒に手作りおやつにトライし、コミュニケーションを図ってもらう。

●LOHASセミナーの開催

LOHAS：
健康で持続可能なライフスタイルのこと

LOHASをテーマに、「暮らし」「からだ」「自分」にやさしいライフスタイルの方法を学び、自分らしく生きることの大切さを考えるセミナーを開催。平成26年度は、3回シリーズで実施。

【1回目：9月】市販品に頼らない、自分なりの消臭アロマスプレーを！

【2回目：11月】自分に合わない食べ物を知ること、安易に薬に頼らない本当の健康・身体の整え方を知ろう！

【3回目：2月】冷え性を直すには？



家庭で実践できる
アイデアを共有し、
広く発信していきましょう！



事務局連絡先

【住所】〒739-8601

東広島市西条栄町 8-29

東広島市環境対策課 温暖化対策室内

【TEL】082-420-0406

【FAX】082-421-5601

倉橋の海とくらしを守る会

ごみのない桂浜からめざす脱温暖化

平成 19 年 6 月 20 日に設立。

豊かな海と温暖な気候に恵まれ、漁業や農業が盛んな広島県最南端の倉橋町において、「海を守ることはくらしを守ること」です。海辺に漂流したごみの清掃等に取り組むなど、海に囲まれた倉橋町ならではの活動を推進しています。

■会員数 個人：31人， 団体数：1団体



活動のあゆみ

平成 19 年度 ●マイバッグ持参運動 【～継続】

●花いっぱい運動 【～継続】

●イベントでの清掃活動 【～継続】
(遣唐使船まつり・宝島フェスティバル)

●海の保全活動 【～継続】

●エコクッキング教室 【～継続】

●環境保全事業（EM石けんづくり）【～継続】

●EM活性液を使った排水路浄化促進事業 【～継続】

平成 22 年度 ●緑のカーテンコンテスト 【～継続】

平成 23 年度 ●先進地視察研修 【～継続】

平成 26 年度 ●海辺の教室



今後の展望など

倉橋町のシンボルであり、万葉集にも詠われた景勝地『桂浜』の清掃活動をはじめ、設立当時から取り組んでいるさまざまな活動を今後も継続して実施していきます。

また、地域の人々が興味を引くような新たな活動も取り入れ、次世代に引き継がれていくよう努めていきます。

主な活動

●海の保全活動

毎月最終日曜日に「桂浜」の海浜清掃を行い、終了後は健康増進を目的に「健康くれ体操」を実施。また、清掃で集めたごみを堆肥化し、花の植栽倍に活用。

●エコクッキング教室

親子を対象に、地球にも身体にもやさしい「地産地消」をテーマとした料理教室を実施。環境や栄養に関するお話しやカルタ大会など、楽しみながら学べるよう工夫。



●緑のカーテンコンテスト



温暖化防止策の一環として、育てた朝顔やゴーヤによる“カーテンコンテスト”を実施。応募写真は市民ギャラリーに展示し、広く啓発。

●環境保全事業（EM石けんづくり）

家庭や飲食業者から出た廃油を利用して、エコ石けん（EM石けん）づくりに取り組んでいる。作った石けんは地域に持ち帰ってもらい、環境保全の大切さをPRする際に活用。



●海辺の教室

倉橋小学校4年生を対象に実施。干潟での生き物採集を通じて生き物の生態や役割を知り、「海を守るために自分たちは何をするか」「自然環境を維持していくにはどうすれば良いか」を考える。



地球温暖化防止は一人ひとりの取り組みが大切です。倉橋の海岸には、ペットボトルや発砲スチロールなど、明らかに人間が捨てたごみで一杯です。

「できることから、始めよう・・・あなたから」をテーマに、今後もさまざまな活動を展開していきます。

事務局連絡先

【住所】〒737-1377

呉市倉橋町431番地
倉橋市民センター内

【TEL】0823-53-1111

【FAX】0823-53-1712

【メール】kurasis@city.kure.lg.jp

脱温暖化プロジェクトせら

平成 20 年 7 月 17 日に設立。

町民や事業者、世羅町などが協働して、脱温暖化のまちづくりに寄与することを目的に、平成 21 年 3 月に「脱温暖化せらのまちづくりプラン」を策定。平成 25 年度に計画期間が終了することから、温暖化対策を持続的に推進していくために、平成 26 年 3 月に「第 2 次脱温暖化せらのまちづくりプラン」を策定し、プランで示した取り組みの実践に力を入れて活動しています。

■人数 4 つのプロジェクトで構成



活動のあゆみ

平成 21 年度

- エコちゃん塾の開催【～継続】 ●里山イベント“せらの山へいってみよう”【～継続】
- 太陽光発電システム設置マップの作成・活用【～継続】

平成 22 年度

- フォーラム“生物多様性せら”の開催 ●ちゃんちゃんこでぽかぽかせら【～形を変えて継続】
- 「相乗りかるた」による啓発【～継続】 ●3R啓発のぼりによる啓発【～継続】
- 「脱温暖化せらのまちづくりフォーラム」の開催【～継続】

平成 23 年度

- せらの七種（ななくさ）物語（ものがたり）【～継続】
- グリーンカーテンフォトコンテスト【～継続】

平成 24 年度

- 「食育キッチンせら～みんなで温暖化もふせごーや～」の開催 ●リーダー研修
- イベント“せらの風を電チャリで”の開催 ●食育フェスタへの参加【～継続】
- せら・里山笑コフェスタ in 夢公園の開催【～継続】 ●“せら里山楽校”の開催【～継続】
- アイドリング・ストップ啓発用の横断幕設置【～継続】
- エコ縫いサロンの開催【～継続】 ●生ごみ堆肥化学習会の開催【～継続】

平成 25 年度

- 脱温暖化せらのまちづくり笑コトーク【～継続】

平成 26 年度

- エコ自治会組織づくり【～継続】



森林資源を
活かした
活動推進！

今後の展望など

平成 21 年度からさまざまな活動に取り組んできました。今後も、それらの取り組みをさらにパワーアップさせると同時に、活動を継続させ、根付かせていくように努めます。

中でも、世羅町の豊富な森林資源の活用について、イベントの開催や森林整備活動を通じた啓発と、新たなしくみ作りに向け検討していきます。

主な活動

●脱温暖化せらの まちづくりフォーラム

「脱温暖化せらのまちづくりプラン」の実績を発表し、今後の活動のあり方確かめ合うために実施しているイベント。講演会など、毎年趣向を凝らしたものとしている。



ななくさ

●せらの七種物語

町内の給食センターから出た生ごみを、世羅高校の生徒の協力を得て「堆肥化」。できた堆肥を使って花を植え付け、エコ実践者に配布することで脱温暖化の取り組みを啓発している。



●脱温暖化せらの まちづくり笑コトーク

ワークショップ形式で広く住民に参加してもらい、生の声を「脱温暖化せらのまちづくり」の活動に反映している。



●エコ自治会組織づくり

小さな地域（自治会）単位で、「脱温暖化」についての学習会等を開催。エコや環境に興味・関心を持ってもらい、環境に関するコミュニティ活動が日常的に展開される「エコ自治会」組織をつくる。

●せら・里山笑コフェスタ in 夢公園

せら夢公園を会場に、さまざまな「エコ」が体験できるイベント。“脱温暖化”だけでなく“森林保全”の視点も考えた体験ブースが集まる、秋の一大野外イベントである。



ぼくの「帽子」は、梨の「帽子」と地球温暖化「防止」のしるし。

世羅高校の駅伝のように、みんなでたすきをつないでゴールをめざすよ。

せらの4つの「4あわせプロジェクト」で、脱温暖化のゴールへ向けて一直線。

地球を守るため、

せいいっぱいがんばります!!



マスコットキャラクター
「なし坊」

事務局連絡先

【住所】〒722-1192

世羅郡世羅町大字西上原 123 番地 1

世羅町役場環境整備課内

【TEL】0847-22-4513

【FAX】0847-22-2768

【メール】kankyo@town.sera.hiroshima.jp

くい環境会議

平成 21 年 3 月 6 日に設立。

環境にやさしい三原市久井地域の町づくりをめざし、豊かな自然を次世代に継承することを目的に、四季折々の自然や水辺を楽しむ郷づくりの推進や環境にやさしい生活の実践と促進に取り組んでいます。

■会員数 個人：106人



活動のあゆみ

- 平成 21 年度 ● エコライフ推進活動 【～継続】
 - 環境整備活動 【～継続】
(県道沿い河川敷の雑木・竹・ごみの伐採と除去)
- 平成 22 年度 ● ホタルマップづくりに向けたホタル実態調査 【～継続】
 - 四季折々の自然を楽しむイベントの開催 【～継続】
 - 地元の祭りへの出展 【～継続】
- 平成 23 年度 ● 地域環境パンフレットづくり 【～継続】
 - ヒョウモンモドキの保護活動 【～継続】
- 平成 24 年度 ● 水辺の生き物採集・展示活動 【～継続】
- 平成 25 年度 ● ビオトープ維持・活用活動 【～継続】
 - 小学校での環境学習 【～継続】



今後の展望など

- 四季折々のイベントを通じ、楽しみながら久井の自然を生かしたエコライフを実践していきたい。
- 今、私たちが取り組んでいる活動を若い世代の人たちに広げていくために、さまざまな団体や個人がエコライフについて学べる機会を積極的に作っていききたい。また、子どもたちと係る活動を拡充していきたい。
- Facebook やブログなどを活用した活動発信に力を入れていく。

主な活動

●エコライフ推進活動

「薪暖房と森林保全を考える集い」

薪ボイラーと薪暖房を導入し、活用している会員宅を訪問。原木からの薪の割り方を体験するほか、薪の貯蔵方法や薪ストーブの活用方法を学ぶ。



●「久井！さわやか高原祭り」への出展

久井の水辺にすむ生き物の実物展示や、どんぐりなどを使った工作教室を通して、久井の自然に親しんでもらう。

また、太陽熱を利用した調理や自転車発電などの体験を通して、自然エネルギーに関心を持ってもらう。



●四季折々の自然を楽しむイベント

秋の恒例イベント「秋の名月観賞会」に加え、平成26年度は「キッチンのエコ学習」にチャレンジ。地元産の里いもを使い、保温調理によるキッチンのエコ技に関心を持ってもらい、家庭での実践を促進。



●里山保全活動と環境マップづくり

ホテルの生息地保護やヒョウモンモドキの生息地環境整備活動に継続的に取り組む。

住民に、久井の貴重な自然を再発見してもらうと同時に、環境保全の大切さや里山と生き物の魅力を伝えるマップ「わが町、くいの自然」を作成・配布。マップを活用した学習会も開催している。

平成26年度には、パンフレット「久井高原の野鳥」の作成にも取り組んだ。



豊かな自然を生かしたエコライフを“地域ぐるみで楽しみながら実践”していくことがモットーです。

今後も、四季折々の自然を楽しむイベントを通じて、豊かな自然を次世代へ継承していきます。

事務局連絡先

【住所】〒722-1412

三原市久井町和草306 あゆみ作業所内

【TEL】0847-32-8428

【FAX】0847-32-8428

【メール】ayumi-sagyosho@m-cn.ne.jp

福山北部脱温暖化地域協議会

平成 21 年 3 月 10 日に設立。

福山市北部地域（新市・駅家・芦田・加茂・広瀬・山野）の地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進委員、食生活改善推進連絡協議会が主体となって温暖化防止活動を展開。地域ぐるみの省エネ活動を推進することで、各主体が連携した町づくりを目指しています。

■会員数 個人：143 人，団体数：3 団体



活動のあゆみ

平成 21 年度 ●マイバッグ持参運動 【～継続】

●エコクッキング教室の開催 【～継続】

●クリーンセンター等の施設を見学し、分別の再認識を図る 【～継続】

●近くへの移動は徒歩または自転車を使用する運動 【～継続】

平成 22 年度 ●環境家計簿記帳運動 【～継続】

●段ボールコンポストで生ごみ堆肥化運動 【～継続】

●河川浄化施設を見学し、家庭排水を考える運動 【～継続】

平成 23 年度 ●緑のカーテン普及活動 【～継続】

●“ふくきた発” 家庭の省エネ 2 力年計画 【～継続】

平成 24 年度 ●エコ紙芝居による脱温暖化啓発 【～継続】

平成 25 年度 ●ゴーヤ料理教室の開催 【～継続】

●省エネ学習会の開催 【～継続】



今後の展望など

地球温暖化防止活動や環境啓発活動は、一気に夢開くものではなく、地道に無理なく着実に推進しなければ普及・浸透しないため、今まで推進してきた事業を引き続き展開していきます。

特に、「緑のカーテン」は好評で、次年度も取り組みたいという意見が多いため、普及活動に力を入れ、緑のカーテンに取り組む仲間を増やしていきます。

主な活動

●段ボールコンポストで生ごみ堆肥化運動

協議会オリジナルの段ボールコンポストを考案。毎年モニターを 50 人公募し、コンポストを配布。家庭から出る生ごみを堆肥化し、生ごみ削減にチャレンジしてもらおう。毎年 1 t 以上の生ごみ削減に成功している。



●緑のカーテン普及活動

会員の 3 団体を通じて、緑のカーテンに取り組み個人・保育所・小学校・公民館を公募し、苗を提供。保育所では、苗の植え方を指導し、子どもたちの省エネ意識を啓発している。

また、自慢のカーテンの写真と 7~8 月の電気使用量前年同月比、体感効果などを記録し提出してもらった「緑のカーテンコンテスト」を実施。カーテンの出来栄や省エネ効果などを考慮し、優秀作品を決定・表彰している。

平成 25 年度は栽培者にアンケートを実施し、栽培テクニックや工夫した点などを集約した「育成マニュアル」を作成。配布することで関心を高めるとともに、普及拡大を図る。



●ゴーヤ料理教室の開催

緑のカーテンの副産物として収穫されるゴーヤ。食べきれずに困っているという声が多く、食生活改善推進連絡協議会の指導員と相談しながらゴーヤ料理のレシピ（ハンバーグや佃煮、ジュースなど）を考案。公民館等で料理教室を開催し、緑のカーテンの普及も図る。



地球温暖化防止活動や環境啓発活動は、女性のサポートが大きな影響力を持っており、当協議会も食生活改善推進協議会のメンバーが協力してくれ、大いに感謝しています。

女性パワーが前面に出せる時代です！
女性の進出に大いに期待しています！！

●省エネ学習会の開催

北部地域の各地区で開催。

温暖化の現状を知ってもらい、実験やワークを通じて自分達にできる取り組みを考え、省エネへの理解を深める。

また、家庭のエネルギー使用量を記録してもらい、取り組み成果を「見える化」。



事務局連絡先

【住所】〒720-1147
福山市駅家町向永 50-4
井上 勝彦
【TEL】084-976-7898
【FAX】084-976-7898

海田町地球温暖化対策地域協議会

(かいた緑のネットワーク)

平成 21 年 4 月 16 日に設立。
以来、町内に緑のカーテンを増やす普及啓発活動を重点的に実施し、「エコタウンかいた」の実現をめざしています。

■会員数 個人：10人



活動のあゆみ

- 平成 21 年度 ●ゴーヤ料理レシピの募集
- 環境学習【～継続】
 - イベントへの参加【～継続】
 - 緑のカーテンマップづくり【～継続】
- 平成 22 年度 ●緑のカーテン栽培講習会【～継続】
- 緑のカーテンフォトコンテスト【～継続】
- 平成 23 年度 ●ヘデラの管理【～継続】
- 平成 24 年度 ●ゴーヤを使った料理教室【～継続】
- 平成 25 年度 ●イベントにおいて野菜市を出店【～継続】



今後の展望など

緑のカーテンの普及により、緑陰・涼風のまち「かいた」をめざします。そのために、事務局やスタッフ、普及啓発活動の先頭に立って活躍する人材の養成に力を入れ、一緒に活動する仲間を増やしていきます。

主な活動

●緑のカーテンを町内に広める取り組み

緑のカーテンマップ作り

町内を歩いて周り、カーテン設置場所を種類別に示すほか、栽培テクニックなどを掲載し、町民や企業、自治会などへ配布し、広くPR。

緑のカーテン栽培講習会（毎年3月に実施）

海田町総合公園の指定管理業者と協賛し、町民を対象に、カーテンに適した植物の紹介や土作り・植え付け時のポイントなどを実演しながら紹介。



緑のカーテンフォトコンテスト

毎年8月に自慢のカーテンの写真を募集し、優秀賞を決定。

ゴーヤを使った料理教室（毎年7月に実施）

押し寿司やコロケ、てんぷら、白和え、漬物など、豊富なメニューで実施。



●イベントへの参加

海田町環境フェア「エーコと瀬野川」や海田市祭りへ参加し、当協議会の活動をまとめたパネルを展示するほか、野菜市を出店し、近郊で採れた“旬”の野菜を販売。



●小学校での環境学習

町内4つの小学校において、オリジナルのパワーポイント教材を活用した環境学習会を毎年実施。

地球温暖化の仕組みや影響を学ぶほか、自分達にできる対策について考える。



●瀬野川河川敷壁面緑化（ヘデラの管理）

平成23年度に、瀬野川河川敷に100本のヘデラを植え、緑化事業に取り組む。



緑のカーテンは、夏場にエアコンが無くても涼しく過ごせるうえ、節電にもつながりますよ。

また、近郊農家の“旬”の野菜を使いましょう！“旬”の野菜は一番美味しいうえに体にも良く、近郊農家であれば、輸送にかかるエネルギー（ガソリン使用量など）が少なく済み、環境にもやさしいのです。

事務局連絡先

【住所】〒736-0046
安芸郡海田町窪町3-1
住民活動センター内
【TEL】082-823-8503
【FAX】082-823-6730

脱温暖化・門田地域協議会

平成 21 年 5 月 1 日に設立。

地域住民団体である「子ども会」「女性会」「炭焼の里」「環境指導員」が中心となり、町内会と協働しながら“温室効果ガスの削減”を共通目標に掲げ、さまざまな活動を展開しています。

各団体の取り組みを市全域へと広め、脱温暖化の町づくりをめざしています。

■会員数 個人：約 130 人，団体数：4 団体



活動のあゆみ

- 昭和 59 年度 ● 水辺教室 【～継続】
- 昭和 60 年度 ● 環境保全事業 【～継続】
- 平成 9 年度 ● 里山保全事業 【～継続】
- 平成 16 年度 ● 河川や海の保全事業 【～継続】
- 平成 20 年度 ● 緑化事業 【～継続】
- 平成 21 年度 ● マイ箸・マイバッグ運動 【～継続】
 - 「ゴミかえる BOX」普及活動 【～継続】
 - アイドリングストップ運動 【～継続】
 - 地域のエコイベントへの出展・啓発 【～継続】
- 平成 22 年度 ● 門田川エコ散策・三策 【～継続】
 - エコ工作 【～継続】
 - 緑のカーテン普及活動 【～継続】
- 平成 24 年度 ● 地産地消のエコ料理講習会 【～継続】
 - エコライフ講習会 【～継続】



今後の展望など

設立して 6 年目を迎え、さまざまな活動を通じて地域住民に啓発してきましたが、地域という『点』での活動に甘んじてきたと思います。

今後は、全尾道市民に向けた『面』の活動に環を拓けることで、目的を同じくする多くの団体と連携し、啓発効果を高めていきます。

“つながり、広がり、更なる発展を！”

主な活動

●門田川自然復活宣言

- 門田川の自然を復活させようとさまざまな取り組みを展開
- ・水辺教室：小学4年生を対象に、自然環境の大切さを伝える
 - ・環境保全事業：河川の草刈や不法投棄ごみ防止活動
 - ・里山保全事業：里山の木材を使って炭づくり
 - ・河川や海の保全事業：木炭を家庭の台所の排水溝や地域の川に投入し、家庭排水の浄化活動を促進
 - ・緑化事業：植樹や花壇への花の植栽と管理



●門田川自然散策・エコ三策

門田川に生息する水生生物を採取し、豊かな自然を再認識。また、検査薬を使って水質検査を行い、家庭排水による川の汚れの現状を知り、水の大切さや海の環境保全について学習している。



●緑のカーテン普及活動

夏の省エネを促進するため、緑のカーテンコンテストを実施。また、電気使用量の記録や温度測定を通じて、効果を「見える化」する。



●「ゴミかえるBOX（ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥づくり）」普及活動

町民を対象に年6回「ゴミかえるBOX」講習会を開催。BOXの活用を促し、生ごみの減量と焼却燃料の削減によるCO₂削減をめざす。

また、作った堆肥を緑のカーテンづくりに活用するほか、農園を作って子どもたちとサツマイモの栽培・収穫にも取り組む。



●「エコライフ講習会」

子ども会と女性会が中心となり、“生活に役立つ”をテーマに地域住民を対象に省エネに関する講習会を年間10回程度実施。

●エコ工作

／アクリルタワシの作成・配布

町民を対象に、牛乳パックや古着を使った小物入れづくりなどを通じて、再利用の大切さを啓発。

また、女性会と子どもたちが、アクリルタワシづくりに取り組み、イベント等で配布。洗剤使用量の削減から河川や海の保全につなげる。



美しい地球を次世代につなぐため、多くの皆様に脱温暖化活動に参加していただいておりますが、いっこうに減らない温室効果ガス、猛威をふるう異常気象もう後がありません。

個々の小さな活動も、多くの方が参加することで大きな温室効果ガス削減の動力となります。

“地球を救うのは、あなたです！”



事務局連絡先

【住所】〒722-0017

尾道市門田町 21-11

代表：渡辺 弘之助

【TEL】0848-23-4744

【FAX】0848-23-4744

栗原地区地球温暖化対策地域協議会

栗原地区の各町内会から1人ずつ委員を選出し、設立準備会を4回開催して会則や役員などを確定し、平成21年10月1日に設立。

学校や企業、町内会と連携しながら、町内全域で地球温暖化防止活動の取り組みを促進しています。

■会員数 個人：1,184人、団体数：18町内会



活動のあゆみ

平成21年度 ●マイバッグ持参運動

- 「STOP 地球温暖化 CO₂CO₂ 家庭からチャレンジ」の実施【～H22】
- 家庭から排出される生ごみの堆肥化の推進【～継続】
- 各種研修会や講演会へ参加し、力量アップ【～継続】
- 出前学習の開催【～継続】
- 広報紙での情報発信【～継続】

平成22年度 ●緑のカーテン普及事業【～継続】

- ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化推進事業【～継続】



今後の展望など

設立以来、行政・事業所・住民が一体となり、温暖化防止に向けて取り組みを推進し、さまざまな活動を展開してきました。

今後は、組織の見直しを図り、活動メニューの拡充・一緒に活動する仲間が少しでも増えるよう活動していきます。

主な活動

●省エネ促進事業

【平成 21 ～ 22 年度】

「STOP 地球温暖化 CO₂CO₂ 家庭からチャレンジ」と名付け、栗原地区の住民に、家庭でできる10項目の省エネメニューから3項目を選択し、3カ月間実施。

【平成 23 年度】

7～9月の3カ月間の『電気』使用量とCO₂排出量の記入を依頼。昨年同月と比較して、どの程度削減できたかを「見える化」し、効果を報告することで、省エネ意識を高めた。

【平成 24 年度】

平成 23 年度の『電気』に加え、『ガス』『水道』『灯油』『ガソリン』についても実施。

【平成 25 年度】

家庭での省エネ実践による CO₂ 削減を図るため、2 回シリーズの学習会を実施。1 回目では効果的な省エネ手法を習得し、約 3 カ月間家庭で実践。2 回目では実践内容を振り返り、継続的な実践にむけたアイデア出しなどを行った。



●出前学習

栗原小学校 4 年生を対象に、栗原川や門田川で採取した水生生物から、水質や水の循環・森林が果たす役割などを学ぶ「水辺教室」を開催。

採取場所と採取した水生生物を紹介したオリジナルマップも作成。



●緑のカーテン普及事業

夏場の省エネにつながる緑のカーテンを普及させようと、アサガオやゴーヤの苗を配布するほか、緑のカーテンコンテストを実施。

また、カーテンの効果を検証するため、温度の測定や記録にも取り組む。



一部の地域だけで活動を継続していくのは大変困難です。行政・住民・事業所などが一体となって進めることの難しさを解消するためにも、行政の役割を具体的に定め、住民の協力体制を確立する必要があるのではないのでしょうか！

事務局連絡先

【住所】〒722-021
尾道市久山田町 1533
【TEL】0848-22-9555
【FAX】0848-22-9555

脱温暖化笑コきたひろ

平成22年2月22日に設立。

地球温暖化防止活動推進員・公衆衛生推進協議会・女性会・老人クラブ・食生活改善推進協議会・商工会・町が連携し、『北広島町脱温暖化笑コ8カ条』を中心に、ニコニコ笑って楽しく温暖化防止活動に取り組み、脱温暖化の町づくりをめざします。

＜北広島町脱温暖化笑コ8カ条＞

北広島町公衆衛生推進協議会が町民への脱温暖化の普及と実践活動を呼びかけようと、平成19年度に策定。

■会員数 個人：14人，団体数：6団体



活動のあゆみ

平成22年度●環境家計簿エコライフカード記録運動

- 脱温暖化出前授業【～継続】
- 笑コ8カ条実践ウォーキングと旬（瞬）を楽しむ会【～継続】
- 1万人のエコチェック事業【～継続】
- 広報誌「公衛協だより」による情報発信【～継続】

平成23年度●笑コで団らんプロジェクト【～継続】

平成24年度●1万人の食チェック事業【～継続】



今後の展望など

脱温暖化の町づくりを目指し、「北広島町脱温暖化8カ条」の8つのテーマをもとに取り組みを進めていきます。

町内のさまざまな所で、大人から子どもまで参加できるイベントを開催し、より多くの人に「北広島町脱温暖化8カ条」を知ってもらうとともに、町内の小学生を対象に環境学習を実施し、家庭でできる脱温暖化の取り組みを実践してもらえる仲間を増やしていきます。

主な活動

●「笑コ8カ条実践ウォーキングと旬（瞬）を楽しむ会

北広島町脱温暖化8カ条の「地元で取れる旬を知り食事に取り入れよう」をテーマに年1回開催。ウォーキングを通じて、「旬」と「食」の大切さや身近な環境の変化などを体感するほか、「旬」の食材を使った昼食を楽しんだり、8カ条実践度チェック、クイズや紙芝居などを交えた温暖化学習など、参加者が楽しめるよう工夫している。

＜実績＞

平成22年度：千代田 平成23年度：豊平
平成24年度：芸北 平成25年度：大朝
平成26年度：豊平

●笑コで団らんプロジェクト

町内の小学校に協力していただき、北広島町脱温暖化8カ条の「一日一回は家族と過ごす時間をつくろう」と「入浴時はシャワーの使いすぎに気をつけ、家族で間隔を空けずに入ろう」をテーマに実施。

冬季を中心に、団らん時間のチェックや電気使用量などの記録を通じて、北広島町の気候に即したデータを集積・公表（『見える化』）することで、省エネ意識を高め、脱温暖化をめざす。

＜実績＞

平成23年度：2校
平成24年度：4校
平成25年度：3校
平成26年度：3校



脱温暖化笑コきたひろは、北広島町脱温暖化8カ条をテーマに、「ウォーキングと旬（瞬）を楽しむ会」や「笑コで団らんプロジェクト」などを実践し、ニコニコ笑って楽しく脱温暖化に取り組んでいます。

●脱温暖化出前授業

町内の小学校へ出向き、「北広島町脱温暖化8カ条」をテーマに作成したオリジナル紙芝居を使い、寸劇を交えながら家庭でできる脱温暖化について啓発。



事務局連絡先

【住所】〒731-1595

広島県山県郡北広島町有田 1234 番地

【TEL】050-5812-1854

【FAX】0826-72-5242

【メール】koueikyou.jimu@gmail.com

エコネットたけはら

(竹原市地球温暖化対策地域協議会)

平成 23 年 2 月 15 日に設立。

市民・事業者・行政などが協力し、地域の特性に即した温室効果ガス排出抑制等の地球温暖化対策の実践活動に、積極的に取り組んでいます。

■会員数 個人：18 人， 団体数：15 団体



活動のあゆみ

平成 23 年度 ● オリジナルパンフレット

「ストップ！地球温暖化」を作成・配布

- 出前講座 【～継続】
- アイドリングストップキャンペーン 【～継続】
- グリーンカーテン普及促進事業 【～継続】

平成 25 年度 ● 電気・ガス・ガソリン使用量

見える化キャンペーン 【～継続】

今後の展望など

平成 26 年度には地球温暖化防止活動推進員が 3 人増え、団体も 1 団体増やすことができました。

今後も、一緒に活動する団体や会員数を増やし、協力しながらより効果的な温暖化防止活動を展開していきたいと思ひます。



「見える化」
キャンペーン
実施中!!

主な活動

●グリーンカーテン普及促進事業

夏場の節電取り組みとしてゴーヤやアサガオなどの「グリーンカーテン」を普及させるため、市内の公共施設（市役所等）に苗や栽培に必要な資材等を支給。

育成したカーテンの内側と外側の温度・湿度の測定と記録をお願いし、カーテンによる効果を体感してもらった。

平成 26 年度は、市内の幼稚園 1 園・保育所 4 所・小学校 4 校・中学校 1 校・高校 1 校・公民館 6 館・エコネットたけはら加入企業 3 社・協力事業所 1 社の計 21 団体で実施。平均 1.5℃～4.9℃以上も気温が下がることを確認。また、初めてグリーンカーテンコンテストを市役所ロビーにて実施。133 人の来庁者の投票により、16 作品の中から“会長賞”を決定。広報およびケーブルテレビを使って啓発を行った。

《参加者の声》・エアコンの温度を高め設定しても涼しく感じられた。

・緑の葉が心をホッとさせてくれて、清々しい 1 日をスタートさせることができた。



●アイドリングストップキャンペーン

平成 26 年度は、9～10 月の 5 日間、竹原港と忠海港において、6 時 55 分発～9 時 30 分発のフェリーに乗船するドライバーを対象に、アイドリングストップへの協力を呼びかけた。計 426 台の協力をいただき、一般家庭から排出される CO₂ 排出量に換算して 24 日分の削減効果につながった。

また、協力者には、オリジナルうちわやエコバッグを提供し「実践記録表」を配布。9 月から 2 カ月間、アイドリングストップ実践日の記録を依頼し、継続的な実践を促した。

さらに、ケーブルテレビ「タネット」において活動を紹介し、アイドリングストップへの理解を深めた。



●出前講座

平成 26 年度は、「地球温暖化の視点からごみや電気について考えてみよう」をテーマに、市内の公民館や近隣の小学校 3・4 年生、地域住民の計 37 人を対象に実施。DVD による温暖化クイズや紙芝居、実験器具を使って LED と蛍光灯の消費電力量の違いを体験。また、ごみの分別とリサイクルについても学習した。



息の長い活動ができるよう、我慢や無理をするのではなく、日常生活の無駄を省き、暮らしの知恵などを活用したエコな生活をするすることで、快適に地球温暖化を防止していきましょう。

●電気・ガス・ガソリン・水道使用量見える化キャンペーン

家庭でのエネルギー使用量の上位を占める電



気・ガス・ガソリン・水道の 8～3 月までの使用量をマグネット付きの記録シートに棒グラフで記録し、使用量の変化を視覚的に確認できることで省エネを意識付ける。

事務局連絡先

【住所】〒725-8666

竹原市市民生活部まちづくり推進課内

【TEL】0846-22-2279

【FAX】0846-22-8579

【メール】machi@city.takehara.lg.jp

かんきょう会議 浮城

平成 20 年 11 月、三原市環境基本計画に基づいて発足。平成 23 年 3 月 9 日に、地球温暖化対策地域協議会として設立しました。

「緑」「水」「エコライフ」「脱温暖化」の 4 つのカテゴリーを中心に、にさまざまな活動を展開しています。

■会員数 個人：40 人， 団体数：1 団体



活動のあゆみ

- 平成 21 年度 ● 省エネ楽習会・エコクッキング
・手づくりエプロンシアター・生ごみリサイクル講演会
- 河川清掃 【～H23】
 - ヒメボタル観察会 【～H26】
 - 森林整備 【～継続】
 - 「やっさ祭り」にて、ごみ削減、啓発事業企画運営に参加 【～継続】
 - 耕作放棄地対策 【～継続】
 - 自然観察会 【～継続】
- 平成 22 年度 ● 緑のカーテンづくり講座・ゴーヤ苗配布 【～継続】
- 緑のカーテンコンテスト 【平成 23 年度から「みはらし環境会議 (5 団体)」主催とし、取り組み地域を拡大中】
 - 生ごみリサイクル講座 【～継続】
 - 出前講座・省エネ診断 【～継続】
- 平成 23 年度 ● 手づくり太陽光パネルワークショップ 【～H24】
- 「3R」「エネルギー」講演会
- 平成 24 年度 ● 竹パウダーで米・野菜づくり講座
- 平成 25 年度 ● Eco リーダーになろう! (中学・高校生対象)
- 平成 26 年度 ● 廃油石けんづくり講座
- エコストーブづくり講座
 - ミニダンボールコンポスト講座
 - 省エネマイスター養成講座



今後の展望など

生ごみ堆肥化は、今後、保育所の園児と一緒に公民館の空きスペースでも取り組み、更なる普及啓発を図っていきます。

主な活動

●里山整備

これまでは「社会福祉法人あけぼの」と協働で実施。平成 26 年度から新たに「三原ライオンズクラブ」と「NPO 法人フォレストサポートクラブ」と協働し、医王山田屋城跡登山道整備に取り組んでいる。



●生ごみの堆肥化

「生ごみ」は「ごみ」ではなく『命』が循環していることを認識し、食生活を見直してもらうことをねらいに、保育所で園児達と一緒に EM 菌を使って給食の切りくずや残食を“堆肥化”。

コミュニティガーデンでも取り組むほか、ミニ段ボール箱を使った堆肥づくり講座も開催。



●省エネ・創エネ

「手づくり太陽光発電パネルワークショップ」(H23 市民 / H24 高校生を対象に実施)に続き、平成 26 年度は「エコストーブづくり講座」「省エネマイスター養成講座」などを開催し、暮らしに活かす知恵・技術を伝えている。



●耕作放棄地対策

市民農園やハーブ畑を作り、有機・無農薬で緑を育て、講座を開催したり、緑のカーテンを PR。平成 26 年度からは一部をコミュニティガーデンとし、市民も気軽に取り組めるよう工夫。



環境問題は思っている以上に深刻です！

『子ども達がのびのび・すくすく育ち、人も自然も生き活きと！』その為に『Think globally, Act locally』「地球的視野で考え、地域(身近)で行動せよ」私たち一人ひとりのライフスタイルが未来を変えるのです。

●グッズの貸し出し

「ソーラークッカー」「エコストーブ」「リユースカップ」「エプロンシアター(台本付き)」「環境紙芝居」「エコかるた」「絵本」などを貸し出している。



事務局連絡先

【住所】〒723-0016

三原市宮沖 5-3-16

【TEL】070-1340-1403(村上)

【メール】ukishiro2014@gmail.com

【HP・Facebook】

「かんきょう会議浮城」で検索

しのうエコ推進会

平成 24 年 3 月 15 日に設立。
庄原市^{しのう}敷信自治振興区において永年取
り組んでいる活動を礎に、住みよい町づ
くりをめざし、さまざまな活動を展開し
ています。

■会員数 敷信自治振興区全区民
約 670 世帯



活動のあゆみ

平成 24 年度 ● 花回廊の整備 【～継続】

- 花いっぱい運動 【～継続】
- イベントでの啓蒙活動 【～継続】
- 廃油回収ボックスの設置 【～継続】
- エコバッグづくり研修会 【～継続】
- グリーンカーテン普及事業 【～継続】

平成 26 年度 ● エコ&愛キャンペーン 【～継続】



今後の展望など

設立して 3 年目を迎え、活動が少しずつ認知され、地区民の意識は
もちろん、他地域の方にも関心を持ってもらえるようになりつつあり
ます。

また、平成 26 年度から取り組みをスタートさせた「エコ&愛キャ
ンペーン」も、小学生を巻き込むなど、広がりをみせつつあります。

今後は、これまでの活動を継続しながら、成果の“見える化”を図
りたいと思います。また、究極のエコグッズと思われる「ウッドコンロ」
の普及と拡大にも力を入れていきます。

主な活動

●花回廊の整備・花いっぱい運動

年3回(5・8・10月)、各自治会メンバーと一緒に庄原インターチェンジ前の中央分離帯の除草および、花の植え替え作業に取り組む。『この中央分離帯はわたし達が花を植えてきれいにしています』と書かれた看板が目印。また、各自治会の花回廊において、チューリップや水仙の植え付け・保植・草刈り・除草等に取り組むほか、年2回(6・12月)、地元の小学3年生と一緒に花の植え替え作業を行っている。



●イベントでの啓蒙活動

区民大運動会や環境イベントにおいてブースを出展し、「火起こし体験」「廃油ローソクづくり」「ウッドコンロやソーラークッカーの展示」などを通じて省エネ意識を啓発。

*廃油は、当会の事務局に設置したBOXにおいて回収したものを活用。



●グリーンカーテン普及事業

“グリーンカーテン”から夏場の省エネを促進しようと、区民大運動会(6月)の会場で、グリーンカーテンフォトコンテストを実施。希望者へは、ゴーヤをはじめとする“食べられるカーテンの種”と、アサガオなど花を咲かせる“キレイなカーテンの種”が各7種類も入った

種のセットをプレゼント。気軽に楽しみながら挑戦してもらえるよう呼びかけ、普及拡大を図る。



●エコ&愛キャンペーン

ペットボトルのキャップの回収を通じて、ごみの分別意識の向上とワクチンとなって世界の子どもたちの命を救う活動に取り組む。

当会の事務局にキャップ回収ボックスを設置。ボックスには、地元の小学生が作成した看板を掲示し、事業への理解と協力を呼びかけている。



国営備北丘陵公園への玄関口・庄原インターチェンジが、私たちの地域です。

“花でお出迎えを!”をキャッチフレーズに、花回廊を作って頑張っています。是非、庄原の地へおいでませ!

事務局連絡先

【住所】〒727-0014

庄原市板橋町 203-6

敷信自治振興センター内

【TEL】0824-72-0571

【FAX】0824-72-0571

【メール】

shinou-komin@int.city.shobara.hirosima.jp

脱温暖化福山中央地域協議会

(脱温ふくやま中央)

平成 27 年 2 月 7 日に設立。

福山市公衆衛生推進協議会中央ブロックが中心となり、福山市食生活改善推進連絡協議会・福山環境大学卒業生・地球温暖化防止活動推進員が連携しながら 5 つのチームに分かれてさまざまな活動を展開しています。

<5 つのチーム>

Aチーム：マイバッグ・マイ箸推進プロジェクト
自然エネルギー活用プロジェクト

Bチーム：アイドリングストップ運動プロジェクト
緑のカーテン運動プロジェクト

Cチーム：地産地消推進プロジェクト・3R推進プロジェクト

Dチーム：廃食油の活用プロジェクト・ごみ減量作戦プロジェクト

Eチーム：環境学習の出前講座プロジェクト・環境家計簿記帳運動プロジェクト

■会員数 個人：235人，団体数：2団体



活動のあゆみ

- 平成 27 年度
- マイバッグ・マイ箸推進運動
 - 自然エネルギー活用事業
 - アイドリングストップ運動
 - 緑のカーテン運動
 - 地産地消の推進
 - 廃食油の活用
 - 環境学習出前講座



今後の展望など

設立して 1 年が経過。思うように事業が進まない現実にとまどいながらも、さまざまな事業に挑戦してきました。横の連携をとりながら、学区を越えた活動が展開できたことや、「脱温暖化の町づくりをめざす」という共通目標に向かって、一丸となって活動できたことは大きな成果です。今後も、この熱い思いをみんなですべてで持続・発展させながら、脱温暖化活動を盛り上げていきます。

主な活動

●マイ箸づくり

マイバッグおよびマイ箸の持参を習慣づけ、また、ごみの減量化を図るため、会員自ら箸作りに挑戦。

思ったより簡単かつ実用的な箸が完成し、日常生活で活用している。



●環境学習出前講座

市内の小学校や公民館、市民センター等へ出向き、脱温暖化出前講座を開催。子供たちを通して親への意識も変容することをねらいに、省エネ実験をたくさん盛り込み、家庭で出来る具体的な取り組みを楽しく分かりやすく解説。



●地産地消の推進

食生活改善推進連絡協議会（食推）の指導員が主体となり、福山市の郷土料理『うずみ料理』をテーマに地産地消を考える料理教室を開催。

また、イベント会場で『うずみ料理』を紹介（試食提供）し、地産地消の普及に努めている。



●自然エネルギー活用事業

イベント会場で太陽熱を利用した調理の実演を行い、自然エネルギーの可能性についてPRしている。

●廃食油の活用

資源の有効利用やごみ減量、河川浄化を考慮してもらうため、町民を対象に、使用済みてんぷら油（飲食店などから提供してもらう）を使った石けん作り講座を開催。



●アイドリング ストップ運動

奇数月に2週間程度、交差点やスーパーの出入り口等にのぼり旗を立てたり、チラシを配布しPR活動を展開。



私たちは、今、文明の恩恵を謳歌していますが、その結果として地球環境を壊していることを再認識し、未来の子どもや孫たちに、このツケを回さないよう出来ることから行動していきましょう！

事務局連絡先

【住所】〒720-0824

福山市多治米町 1-19-1

小林 哲仁

【TEL】084-953-2973

【FAX】084-953-2983

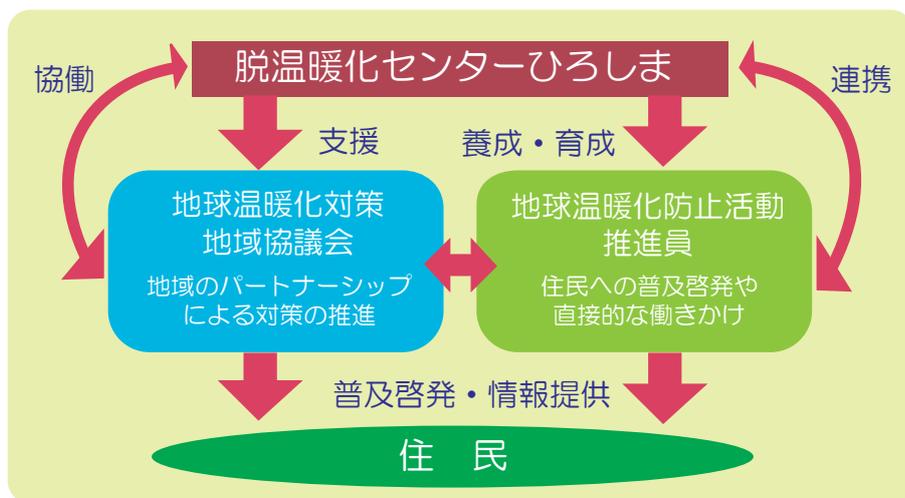
脱温暖化センターひろしま

【広島県地球温暖化防止活動推進センター】

脱温暖化センターひろしま(広島県地球温暖化防止活動推進センター)は、平成11年(1999年)4月8日に施行された「地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、『温対法』)」に基づき平成12年(2000年)4月1日、広島県知事から指定を受け、一般財団法人広島県環境保健協会内に設置されました。

脱温暖化センターひろしまの取り組み

- 啓発・広報活動
地球温暖化の現状および地球温暖化対策の重要性について、広く伝えていく。
- 地球温暖化対策地域協議会(TEAM)の支援
TEAMおよび脱温暖化推進団体(グループ)などの活動支援。
- 地球温暖化防止活動推進員の養成
地球温暖化防止活動推進員の養成研修やフォローアップ研修の実施、連携づくり。
- 調査・研究活動
家庭におけるエネルギー使用量等の調査活動や結果の公開、省エネ行動の普及策やメニューの研究など。
- 情報発信
情報紙「環境と健康」やホームページを通じての情報発信
- 学習教材等の作成、教育・啓発グッズの貸し出し



当センターは、コミュニティを基盤にした“脱温暖化のまちづくり”をテーマに、その活動の核を担う「地球温暖化対策地域協議会」や「地球温暖化防止活動推進員」と連携・協働しながら、脱温暖化の推進体制を築くことをめざしています。



地球温暖化防止活動推進員とは…

地球温暖化防止活動推進員は、『温対法』に基づき、市民などによる地球温暖化防止活動を支援し、助言を行う人たちのことです。

平成26年(2014年)12月末現在、広島県内で349人の推進員が広島県知事の委嘱を受けて、各地で活躍しています。

★地球温暖化防止活動推進員の役割と活動★

- * 自ら地球温暖化防止活動を実践すること
- * 地域住民への普及啓発活動を実施すること
- * 地域住民からの相談に対応すること
- * 地球温暖化対策地域協議会の活動に積極的に参画すること
- * 県や市町が行う施策に協力すること
- * 研修会などへ参加し、資質の向上に努めること
- * 地球温暖化防止活動推進センターの活動に協力、情報提供すること

主な貸し出しグッズ

脱温暖化センターひろしまでは、脱温暖化のまちづくり活動の支援の一環として、さまざまな啓発グッズの貸し出しを行っています。地域での啓発活動・学習会等にぜひお役立てください。ただし、数に限りがありますので、貸出期間や数などはあらかじめご相談ください。申し込み・問い合わせは下記へ。

みなさまのご利用をお待ちしています。



浮き浮き実験器



おひさま発電所mini
(太陽光発電パネル)



サニークッカー



エネトレ
(自転車発電機)



ワットアワーメータ



ごみの分別ゲームカード



- はんてん
- たすき
- のぼり



各種パネル



紙芝居

このほか、DVD・書籍等の貸し出しも行っていきます。

問い合わせ・
お申し込みは…



脱温暖化センターひろしま【(一財)広島県環境保健協会】

■〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1

■TEL: 082-293-1512 ■FAX: 082-293-1524

地球温暖化対策地域協議会について

1. 地球温暖化対策地域協議会の目的

民生部門からの温室効果ガス排出量の削減が喫緊の課題となっている中、日常生活において住民自らが効果的な取組を進めていくためには、地方公共団体が中心となり、住民や中小事業者の地球温暖化問題に対する意識や知識の高揚を図るとともに、効果的な対策についての情報提供等を行い、更にその取組の支援をしていく体制の整備が必要です。

このため、地方公共団体、都道府県センター、事業者、住民等が連携して対策を協議し、協力して地球温暖化対策に取り組む組織として、地球温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）を組織できることとしました。この地域協議会においては、各地域の事情に応じた効果的な取組や参加メンバーの役割等について協議し、地域密着型の対策を講ずることにより、日常生活における温室効果ガスの削減を図ることを目的としています。

2. 地域協議会の設立について

(根拠条文)

○地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）

(地球温暖化対策地域協議会)

第26条

地方公共団体、都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者は、日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議するため、地球温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）を組織することができる。

2 前項の協議を行うための会議において協議が調った事項については、地域協議会の構成員は、その協議の結果を尊重しなければならない。

3 前二項に定めるもののほか、地域協議会の運営に関し必要な事項は、地域協議会が定める。

(1) 構成員

「地方公共団体、都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者」（第1項）

地域協議会は、日常生活における地球温暖化対策に関わる者によって構成するものとします。例としては、行政主体としての地方公共団体、地域で普及啓発活動等を行う者としての都道府県センター及び地球温暖化防止活動推進員、対策の実施主体としての事業者及び住民を中心とし、その他に、地域の事情に応じて、地球温暖化対策活動を行うNPO等の参加が考えられます。

なお、構成員の内訳や人数についての要件は法律上明記していませんが、制度の趣旨に鑑みれば、一業種（例：事業者のみ）や少人数での設立は地域協議会としては適当ではなく、また、日常生活での対策が中心であることから、住民（団体を含む。）が参加していることが望まれます。

地域の実情に応じて、下記の例示のような構成員で組織することが想定されます（例：[1]+[2]+[5]、[3]+[4]+[5]、[5]+[6]等）。

(想定される構成員の例)

[1] 地方公共団体…例：市町村、都道府県

※地方公共団体については、地域密着型のきめ細かな対策を講じるためには市町村レベルでの組織が理想的ですが、地域の事情に応じて都道府県レベルで組織することも考えられます。

[2] 都道府県地球温暖化防止活動推進センター

※地球温暖化対策推進法第11条

[3] 地球温暖化防止活動推進員

※地球温暖化対策推進法第10条

[4] 事業者…例：対策機器メーカー、地元スーパー、商店街、商工会議所等

[5] 住民…例：住民、自治会、PTA、消費者団体等

[6] その他…例：NPO等

また、地域協議会は法人格を取得する必要はありません。ただし、補助制度を活用する場合には、当該補助制度の要件によっては、地域協議会の構成員に法人格を有する者が必要となる場合があります。

(2) 活動内容

「日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議するため」
(第1項)

地域協議会は、日常生活に関する温室効果ガスの削減を目的として設立される必要があります。ただし、この趣旨は、活動の場を一般家庭に限定するということではなく、例えば、省エネ機器の製造・普及など、事業者等の対策や住民への普及啓発など行政の対策も含めて、日常生活全般に係る分野が幅広く対象となります。

地域協議会における活動内容は、各地域協議会において決定することとなりますが、例としては、以下のものが考えられます。

- 住民の取組を推進するため必要な支援策の検討
- 一般家庭、商店街等における温室効果ガスの削減効果のある機器等の普及
- 一般家庭、商店街等に導入しやすい対策の情報交換
- 温暖化対策診断やエコドライブ診断の実施
- リサイクル運動等地域ぐるみの取組の企画・推進
- 都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員に求められる日常生活に関する活動の検討
- 共同ポスターの作成
- 住民への普及啓発のためのシンポジウム、セミナーの開催

(3) 尊重規定

「前項の協議を行うための会議において協議が調った事項については、地域協議会の構成員は、その協議の結果を尊重しなければならない。」(第2項)

地域協議会の構成員は、地域協議会の会議において決定された事項について尊重する義務があります。例えば、事業者、住民等、各主体が地域協議会の決定に基づき自主的取組を行うことや、構成員である地方公共団体が協議会の決定事項を施策に反映することが考えられます。

(4) その他

「地域協議会の運営に関し必要な事項」(第3項)

地域協議会の運営に関し必要な事項としては、次の事項が想定されます。地域協議会の円滑な運営のためには、目的、活動内容等を定めた規約を策定することが望まれます。

- ・会の名称
- ・目的
- ・活動内容
- ・組織…役員、役員の選出方法、役員の職務、任期
- ・議決方法
- ・経費
- ・事務局 等

3. 地球温暖化対策地域協議会登録簿

地域協議会の活動を支援するため、環境省に地域協議会の登録簿を設置し、全国の地域協議会の設立状況や活動内容等の情報をインターネットを通じて一般に公表することにより、地域協議会同士の情報交換や住民等への情報提供を推進しています。なお、登録簿への登録は、地域協議会設立要件ではありません。

Tiiki 地域で



Eco 環境にやさしい



Action 行動をおこす



Meeting 人・組織のあつまり



発行：脱温暖化センターひろしま
(一般財団法人 広島県環境保健協会)

■〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1

■TEL：082-293-1512

■FAX：082-293-1524